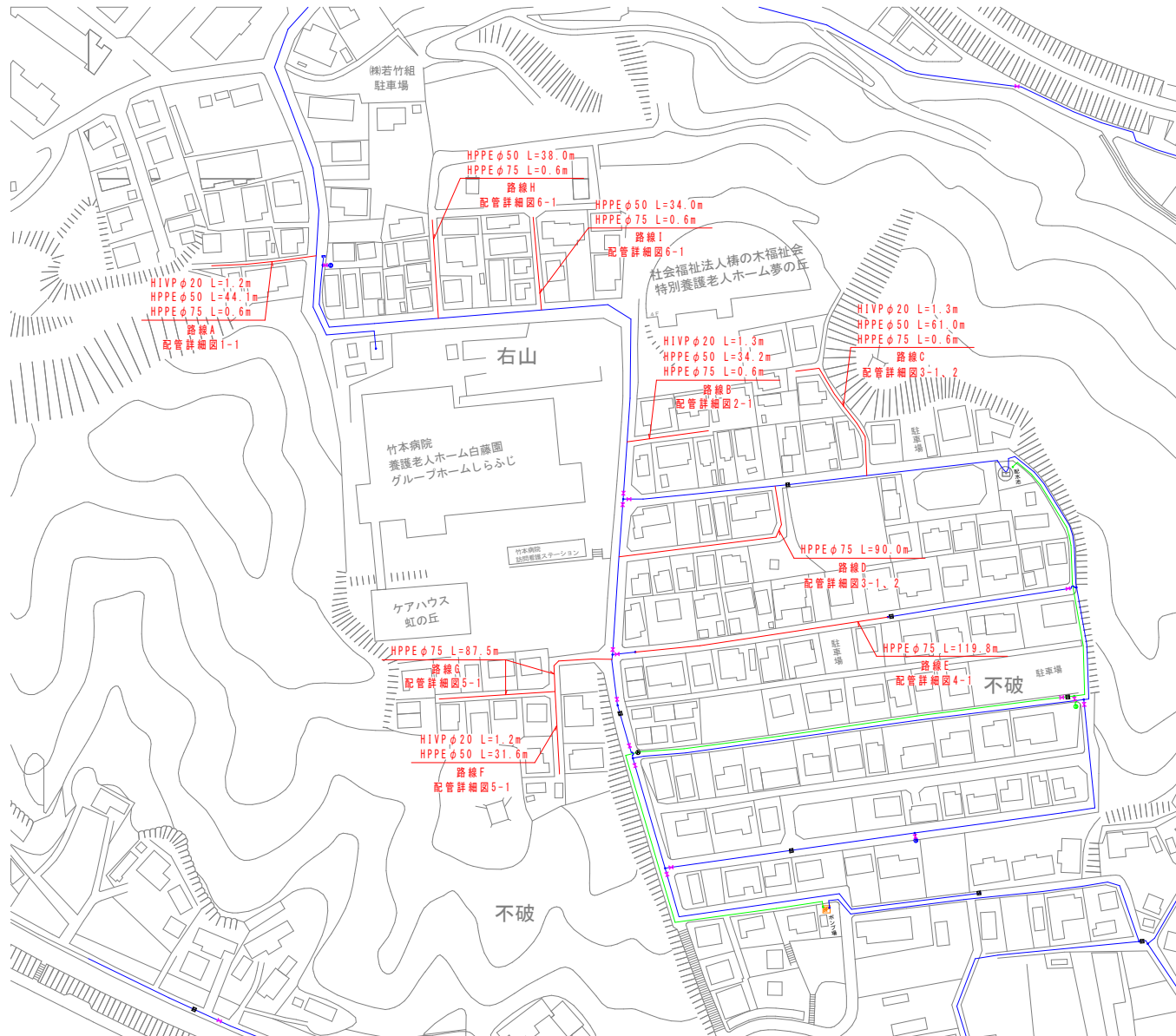


凡例

- 新設配水管
— 既設配水管
— 既設送水管
田 消火栓
✕ 仕切弁

一般平面図

S=1:1000



対象図面	HPPE φ50	HPPE φ75	HIVP φ20
配管詳細図1(路線A)	44.1	0.6	1.2
配管詳細図2(路線B)	34.2	0.6	1.3
配管詳細図3(路線C,D)	61.0	90.6	1.3
配管詳細図4(路線E)		119.8	
配管詳細図5(路線F,G)	31.6	87.5	1.2
配管詳細図5(路線H,I)	72.0	1.3	
合計	242.9	300.4	5.0

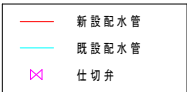
四万十市			
工事種別	令和7年度 上水工 第1号 中村地区不壊外1地区配水管施設工事	図面名称	一般平面図
図面名称	一般平面図	縮尺	1/1000
路線河川名			
工事箇所	高知県 四万十市 不壊外		
設計種別	実施設計図	図面番号	1
事務所名	四万十市 上下水道課	図面番号	10
会社名			

口径	許容曲げ半径
φ50	5.0m
φ75	7.0m
φ100	9.5m
φ150	13.5m
φ200	19.0m

配管詳細図1-1

(路線A)

凡例



一般平面図

S=1:500

(路線A)



※管種は、HPPE(水道配水用ポリエチレン管)を使用すること。

※継手部はEF(電気融着)継手とすること。

※メカ形異形管類は、粉体塗装で離脱防止金具付とすること。

※管理施設部には、埋設表示シートを布設すること。

※鋼鉄製異形管埋設部には、ポリエチレンスリーブを被覆すること。

※できる限り曲管を使用せずに許容曲げ半径の範囲内で布設すること。

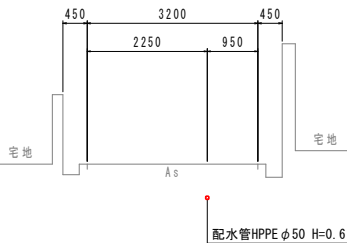
横断面

S=1:50

※横断面における新設管の占用位置・深度を管理すること。

1-1

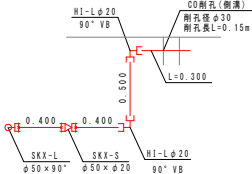
(P.20.0付近)



ドレン詳細図

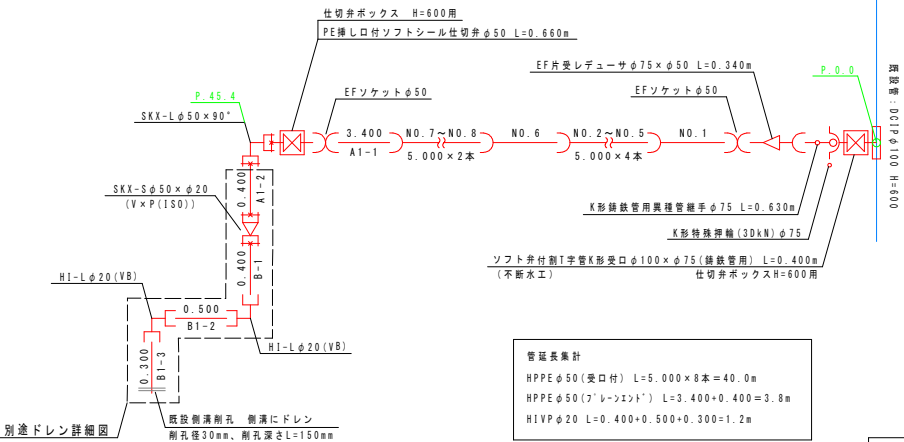
S=1:25

※路面から10cm下に配管すること。



管割図

S=NON



水道配水用*11φ110管切管調査 HPPE φ50:直管L=5.000m

番号	口径	切管組み合わせ	※▽は切断位置			
			有効長	残管長	計	切断
(1)~(8)	50	5.000 (1)~(8)	5.000	0.000	5.000	0
A1	50	3.400 (A1-1) 0.400 (A1-2)	3.800	1.200	5.000	2
(合計)						2

硬質塩化ビニル管切管調査 HIVP φ20:直管L=4.000m

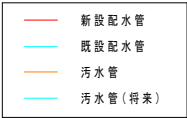
番号	口径	切管組み合わせ	※▽は切断位置			
			有効長	残管長	計	切断
B1	20	0.400 (B1-1) 0.500 (B1-2) 0.300 (B1-3)	1.200	2.800	4.000	3
(合計)						3

管延長集計
HPPE φ50 (受口付) L=5.000×8本=40.0m
HPPE φ50 (7'レノエント) L=3.400+0.400=3.8m
HIVP φ20 L=0.400+0.500+0.300=1.2m

四万十市			
工事種別	令和7年度 上水工 第1号 中村地区不壊井1地区配水管布設工事		
図面名称	配管詳細図1-1	図尺	図示
路線河川名			
工事箇所	高知県 四万十市 不壊井		
設計種別	実施設計図	図面 番号	2
事務所名	四万十市 上下水道課		10
会社名			

口径	許容曲げ半径
φ50	5.0m
φ75	7.0m
φ100	9.5m
φ150	13.5m
φ200	18.0m

凡例



一般平面図

S=1:250



配管詳細図2-1

(路線B)

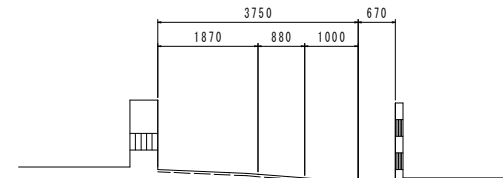
※管種は、HPPE(水道配水用ポリエチレン管)を使用すること。
※継手部はEF(電気融着)継手とすること。
※メカ形異形管類は、粉体塗装で離脱防止金具付とすること。
※管埋設部には、埋設表示シートを布設すること。
※鋼鉄異形管埋設部には、ポリエチレンスリーブを被覆すること。
※できる限り曲管を使用せずに許容曲げ半径の範囲内で布設すること。

横断面

S=1:50

※横断面測点における新設管の占用位置・深度を管理すること。

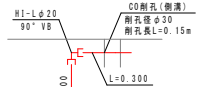
1-1
(P.20.0付近)



ドレン詳細図

S=1:25

※路面から10cm下に配管すること。



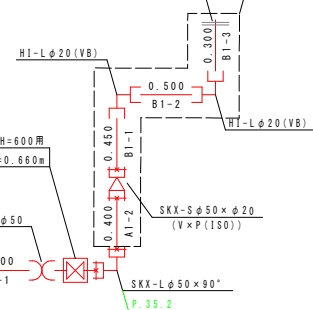
管割図

S=NON

管延長集計
HPPE φ50(受口付) L=5.000×6本=30.0m
HPPE φ50(フレン・エンド) L=3.500+0.400=3.9m
HIVP φ20 L=0.450+0.500+0.300=1.25m

既設側溝側溝にドレン
側溝深30mm、側溝深さL=150mm

別途ドレン詳細図

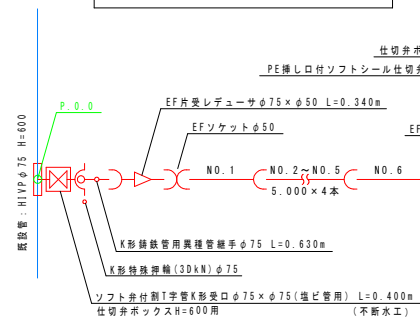


水道配水用*リジッド管切管調査 HPPE φ50:直管L=5.000m

		※♡は切断位置			
番号	口径	切管組み合わせ	有効長	残管長	計 切断
(1)~(6)	50	5.000 (1)~(6)	5.000	0.000	5.000 0
A1	50	3.500 (A1-1) 0.400 (A1-2)	3.900	1.100	5.000 2
(合計)					2

硬質塩化ビニル管切管調査 HIVP φ20:直管L=4.000m

		※♡は切断位置			
番号	口径	切管組み合わせ	有効長	残管長	計 切断
B1	20	0.450 (B1-1) 0.500 (B1-2) 0.300 (B1-3)	1.250	2.750	4.000 3
(合計)					3



四万十市			
工事種別	令和7年度 上水工 第1号 中村地区不壊井1地区配水管布設工事	図 示	
図面名称	配管詳細図2-1	縮 尺	
路線河川名			
工事箇所	高知県 四万十市 不壊外		
設計種別	実施設計図	図 面 番 号	3
事務所名	四万十市 上下水道課		10
会社名			

凡例

- 新設配水管
- 既設配水管
- 污水管
- 污水管(将来)

一般平面図

S=1:500



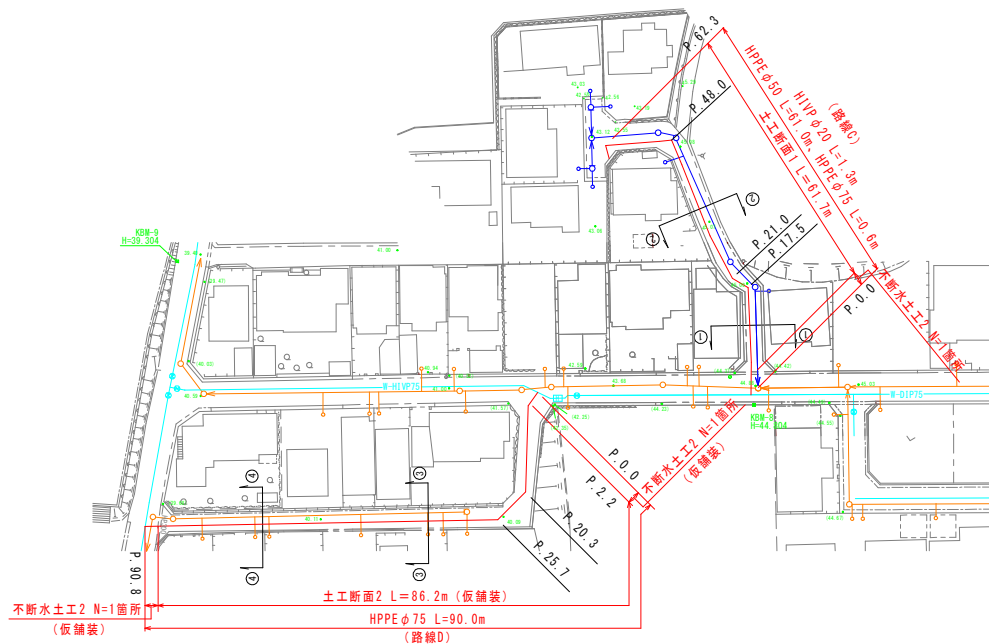
配管詳細図3-1

(路線C・D)

横断面

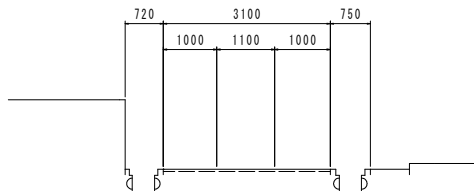
S=1:50

※横断面点における新設管の占用位置・深度を管理すること。



【C路線】

1-1
(P. 15.0付近)

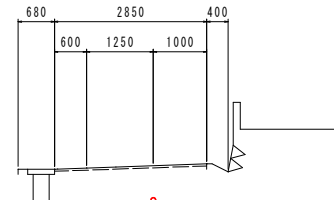


配水管HPPE φ50 H=0.6

污水管VU200 H=3.0

【D路線】

3-3
(P. 20.0付近)

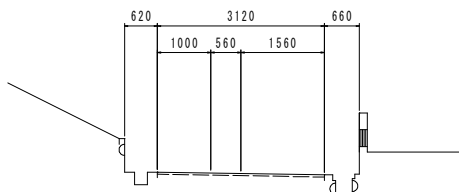


配水管HPPE φ75 H=0.6

污水管VU200 H=1.1

2-2

(P. 40.0付近)

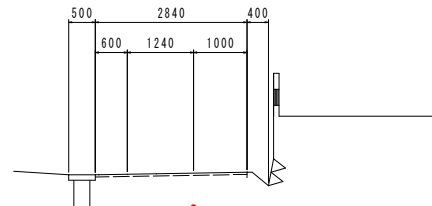


配水管HPPE φ50 H=0.6

污水管VU200 H=3.0

4-4

(P. 50.0付近)



配水管HPPE φ75 H=0.6

污水管VU200 H=1.0

四万十市				
工事種別	令和7年度 上水工 第1号 中村地区不壊外1地区配水管新設工事			
図面名称	配管詳細図3-1	縮尺	図示	
路線河川名				
工事箇所	高知県 四万十市 不壊外			
設計種別	実施設計図	図面 番号	4 10	
事務所名	四万十市 上下水道課			
会社名				

口径	許容曲げ半径
φ50	5.0m
φ75	7.0m
φ100	9.5m
φ150	13.5m
φ200	19.0m

管延長集計

HPPEφ50(受口付) L=5,000×10本=50.0m
HPPEφ50(フレンチ付) L=1,000+3,300+1,800+3,500+0.400=10.0m
HPPEφ75(受口付) L=5,000×15本=75.0m
HPPEφ75(フレンチ付) L=1,000+2,700+4,900+4,000=12.6m
HIVPφ20 L=0.500+0.500+0.300=1.30m

配管詳細図3-2

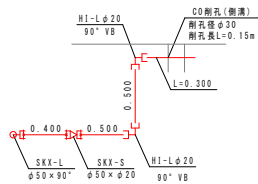
(路線C・D)

- ※管種は、HPPE(水道配水用ポリエチレン管)を使用すること。
- ※継手部はEF(電気融着)継手とすること。
- ※メカ形異形管類は、粉体塗装で離脱防止金具付とすること。
- ※管理施設部には、埋設表示シートを布設すること。
- ※鉄筋製異形管理施設部には、ポリエチレンスリーブを被覆すること。
- ※できる限り曲管を使用せずに許容曲げ半径の範囲内で布設すること。

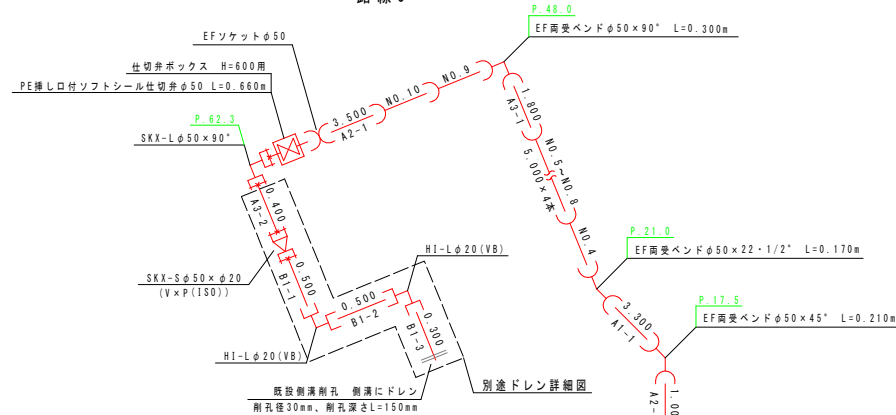
ドレン詳細図

S=1:25

※路面から100mm下に配管すること。



路線C



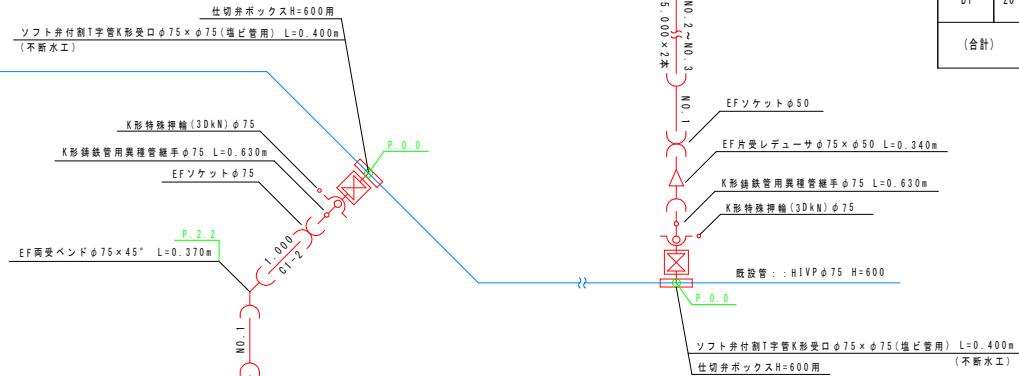
水道配水用φ75ポリ管切管調査 HPPEφ50:直管L=5,000m

番号	口径	切管組み合わせ	※▽は切断位置			
			有効長	残管長	計	切断
(1)~(10)	50	5,000 (1)~(10)	5,000	0.000	5,000	0
A1	50	3,300 (A1-1)	3,300	1.700	5,000	1
A2	50	3,500 (A2-1) 1,000 (A2-2)	4,500	0.500	5,000	2
A3	50	1,800 (A3-1) 0,400 (A3-2)	2,200	2.800	5,000	2
(合計)						5

硬質塩化ビニル管切管調査 HIVPφ20:直管L=4,000m

番号	口径	切管組み合わせ	※▽は切断位置			
			有効長	残管長	計	切断
B1	20	0,500 (B1-1) 0,500 (B1-2) 0,300 (B1-3)	1,300	2,700	4,000	3
(合計)						3

仕切井ボックスH=600用
ソフト弁付割T字管K形受口φ75×φ75(塩ビ管用) L=0.400m
(不断水工)



水道配水用φ75ポリ管切管調査 HPPEφ75:直管L=5,000m

番号	口径	切管組み合わせ	※▽は切断位置			
			有効長	残管長	計	切断
(1)~(15)	75	5,000 (1)~(15)	5,000	0.000	5,000	0
C1	75	4,000 (C1-1) 1,000 (C1-2)	5,000	0.000	5,000	1
C2	75	4,900 (C2-1)	4,900	0.100	5,000	1
C3	75	2,700 (C3-1)	2,700	2.300	5,000	1
(合計)						3

四 万 十 市			
工事種別	令和7年度 上水工 第1号 中村地区不壊外1地区配水管布設工事		
図面名称	配管詳細図3-2	縮尺	図示
路線河川名			
工事箇所	高知県 四万十市 不壊外		
設計種別	実施設計図	図面 番号	5
事務所名	四万十市 上下水道課		10
会社名			

凡例

—	新設配水管
—	既設配水管
—	汚水管

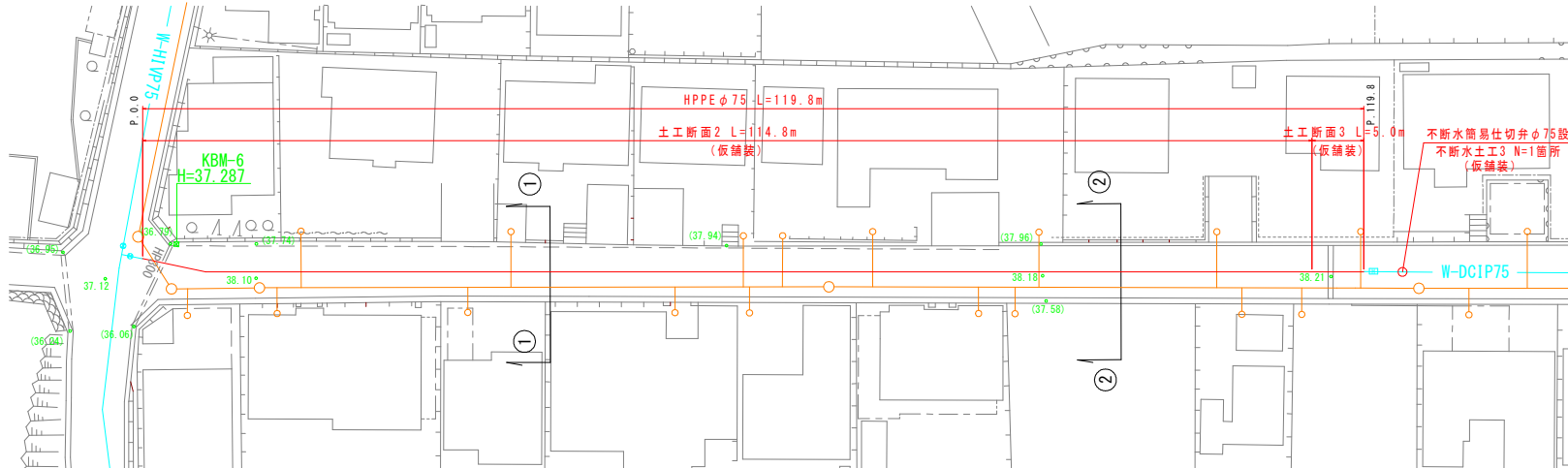


配管詳細図4-1
(路線E)

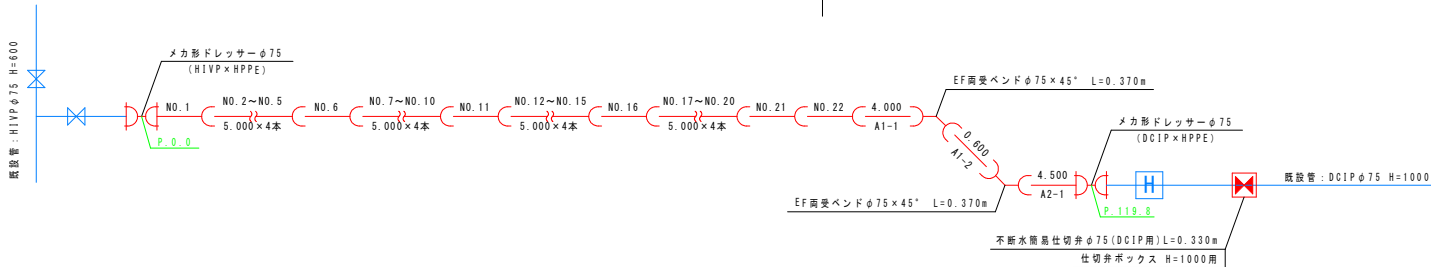
一般平面図
S=1:250

※管種は、HPPE(水道配水用ポリエチレン管)を使用すること。
※継手部はEF(電気融着)継手とすること。
※メカ形異形管類は、粉体塗装で離脱防止金具付とすること。
※管理設部には、埋設表示シートを布設すること。
※鋼鉄製異形管埋設部には、ポリエチレンスリーブを被覆すること。
※できる限り曲管を使用せずに許容曲げ半径の範囲内で布設すること。

口径	許容曲げ半径
φ50	5.0m
φ75	7.0m
φ100	9.0m
φ150	13.5m
φ200	19.0m



管割図
S=NON



水道配水用ポリエチレン管切管調書 HPPE φ75 直管L=5.000m

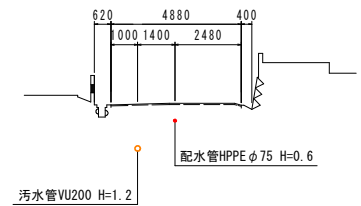
※▽は切断位置					
番号	口径	切管組み合わせ	有効長	残管長	計 切断
(1)~(22)	75	5.000 (1)~(22)	5.000	0.000	5.000 0
A1	75	4.000 (A1-1) 0.600 (A1-2)	4.600	0.400	5.000 2
A2	75	4.500 (A2-1)	4.500	0.500	5.000 1
(合計)					3

管延長集計
HPPE φ75(突口付) L=5.000×22本=110.0m
HPPE φ75(マニホーク付) L=4.000+0.600+4.500=9.1m

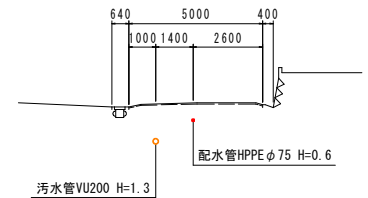
横断面図
S=1:100

※横断面測点における新設管の占用位置・深度を管理すること。

1-1
(P.40.0付近)



2-2
(P.90.0付近)



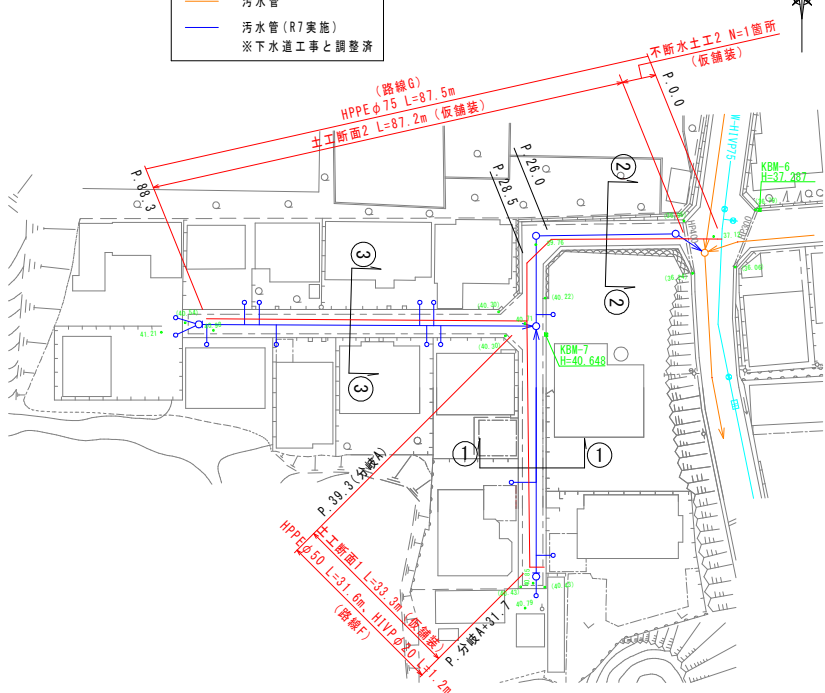
四万十市			
工事種別	令和7年度 上水工 第1号 中村地区不壊外1地区配水管布設工事		
図面名称	配管詳細図4-1	縮尺	図示
路線河川名			
工事箇所	高知県 四万十市 不壊外		
設計種別	実施設計図	図面 番号	6
事務所名	四万十市 上下水道課		10
会社名			

凡例

- 新設配水管
- 既設配水管
- 汚水管
- 汚水管(R7実施)
- ※下水道工事と調整済

一般平面図

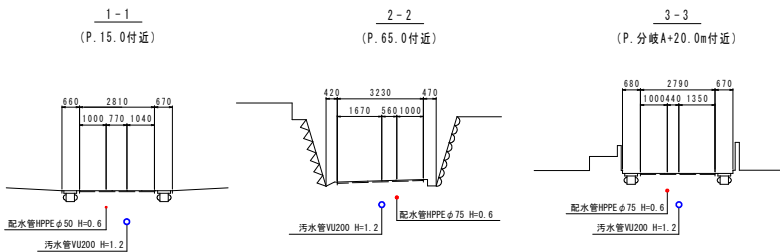
S=1:400



横断面図

S=1:100

※横断面点における新設管の占用位置・深度を管理すること。



配管詳細図5-1

(路線F、G)

※管種は、HPPE(水道配水用ポリエチレン管)を使用すること。
 ※継手部はEF(電気融着)継手とすること。
 ※メカ形異形管類は、粉体塗装で難燃防止金具付とすること。
 ※管理段部には、埋設表示シートを布設すること。
 ※鑄鉄製異形管理段部には、ポリエチレンスリーブを被覆すること。
 ※できる限り曲管を使用せずに許容曲げ半径の範囲内で布設すること。

管延長集計

HPPE φ50 (受口)	L=5.000×5本=25.0m
HPPE φ50 (7'レノシフト)	L=4.900+1.300=6.2m
HPPE φ75 (受口)	L=5.000×15本=75.0m
HPPE φ75 (7'レノシフト)	L=4.800+2.100+0.500+3.100=10.5m
HIVP φ20	L=0.400+0.500+0.300=1.20m

水道配水用*リフレ管切管調査 HPPE φ50:直管L=5.000m

番号	口径	切管組み合わせ	有効長	残管長	計	切筋
(1)~(5)	50	5.000 (1)~(5)	5.000	0.000	5.000	0
A1	50	4.900 (A1-1)	4.900	0.100	5.000	1
A2	50	1.300 (A2-1)	1.300	3.700	5.000	1
(合計)						2

水道配水用*リフレ管切管調査 HPPE φ75:直管L=5.000m

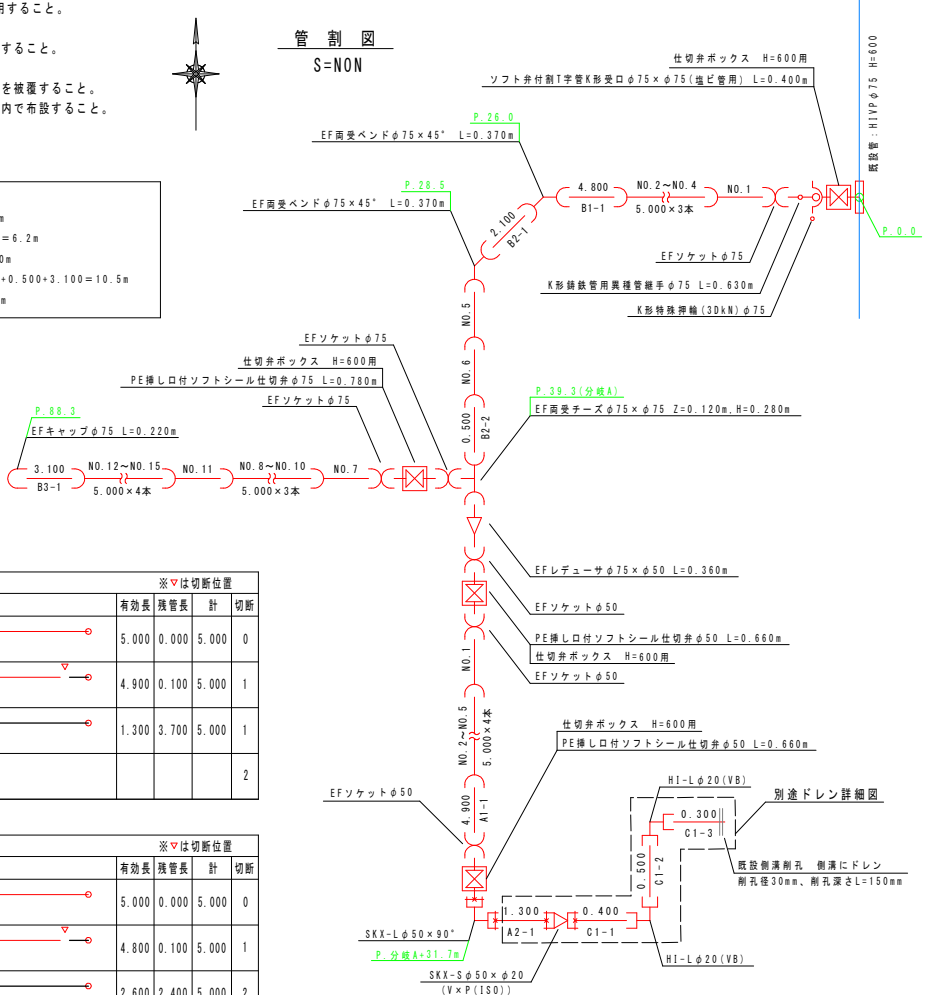
番号	口径	切管組み合わせ	有効長	残管長	計	切筋
(1)~(15)	75	5.000 (1)~(15)	5.000	0.000	5.000	0
B1	75	4.800 (B1-1)	4.800	0.100	5.000	1
B2	75	2.100 (B2-1) 0.500 (B2-2)	2.600	2.400	5.000	2
B3	75	3.100 (B3-1)	3.100	1.900	5.000	1
(合計)						4

硬質塩化ビニル管切管調査 HIVP φ20:直管L=4.000m

番号	口径	切管組み合わせ	有効長	残管長	計	切筋
C1	20	0.400 (C1-1) 0.500 (C1-2) 0.300 (C1-3)	1.200	2.800	4.000	3
(合計)						3

管割図

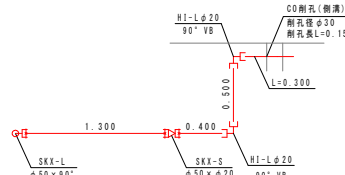
S=NON



ドレン詳細図

S=1:25

※路面から10cm下に配管すること。



口径	許容曲げ半径
φ50	5.0m
φ75	7.0m
φ100	9.5m
φ150	13.5m
φ200	19.0m

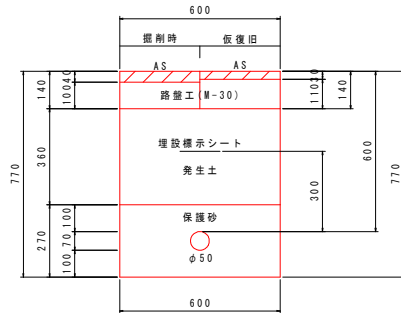
四万十市			
工事種別	令和7年度 上水工 第1号 中村地区不壊外1地区配水管布設工事	図名	図示
図面名称	配管詳細図5-1	図尺	
路線河川名	高知県 四万十市 不壊外	設計種別	実施設計図
工事箇所	高知県 四万十市 不壊外	事務所名	四万十市 上下水道課
設計種別	実施設計図	図面番号	7
事務所名	四万十市 上下水道課	会社名	10

配管詳細図 7-1

掘削断面図

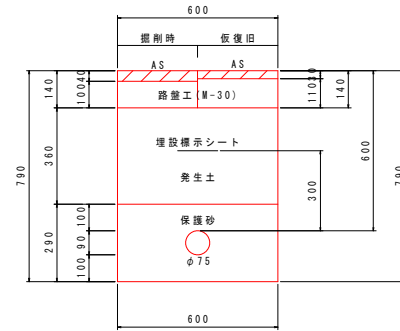
土工断面1
S=1:10

市道 車道 AS舗装(両切) H=0.6 φ50



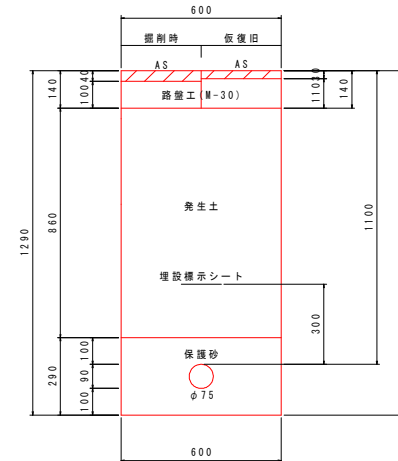
土工断面2
S=1:10

市道 車道 AS舗装(両切) H=0.6 φ75



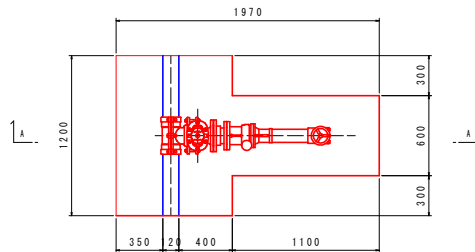
土工断面3
S=1:10

市道 車道 AS舗装(両切) H=1.0 φ75



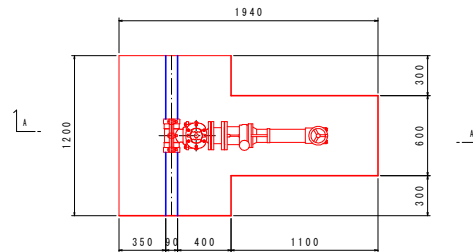
不断水土工断面1
S=1:20

市道 車道 AS舗装 不断水連絡工 φ100×φ75 H=0.60
(既設管: DCIP φ100)



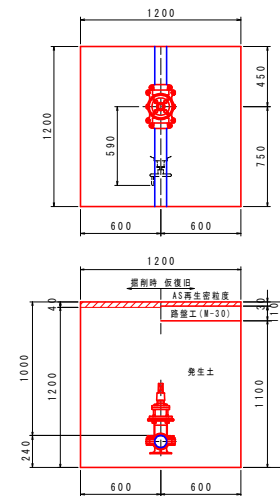
不断水土工断面2
S=1:20

市道 車道 AS舗装 不断水連絡工 φ75×φ75 H=0.60
(既設管: HIPP φ75)



不断水土工断面3
S=1:20

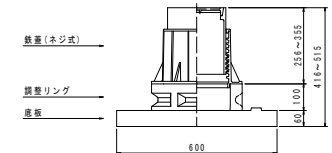
市道 車道 AS舗装 不断水簡易仕切 φ75 H=1.0



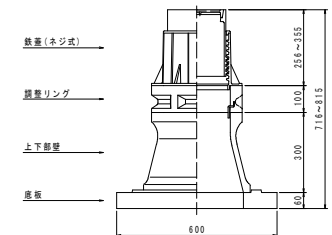
ボックス標準図

S=1:10

円形1号 H=600用(φ~150)

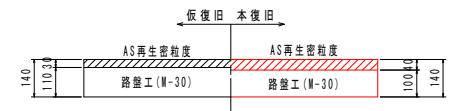


円形1号 H=1000用(φ150)



舗装構成図

S=1:10



四 万 十 市			
工事種別	令和7年度 上水工 第1号 中村地区不壊外1地区配水管施設工事		
図面名称	配管詳細図6-1	縮尺	図 示
路線河川名			
工事箇所	高知県 四万十市 不壊外		
設計種別	実施設計図	図面 番号	9
事務所名	四万十市 上下水道課		10
会社名			

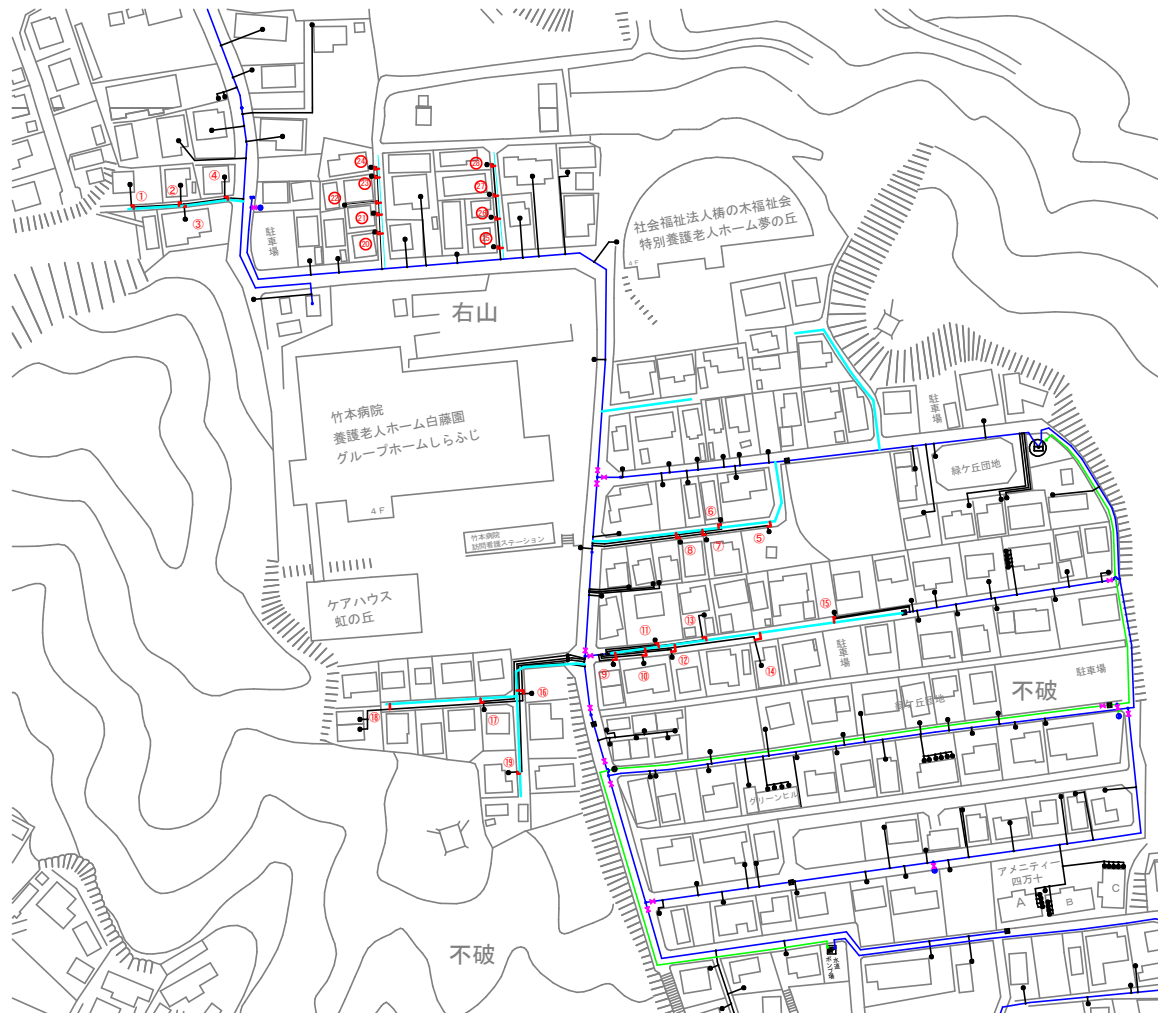
凡例



給水管詳細図1

一般平面図

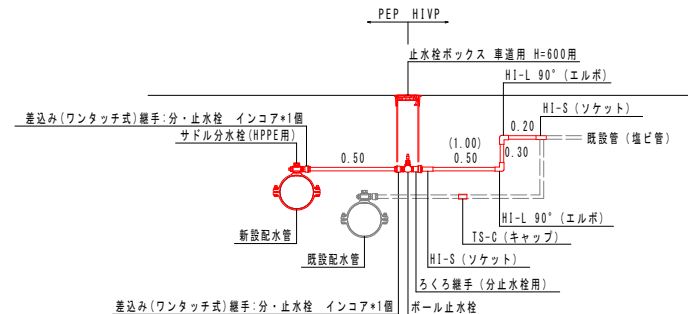
S=1:1000



標準図

S=NON

※差込み（ワンタッチ式）継手には、樹脂製インコアを設置すること。
 ※止水栓より宅内側は、HIVPで施工すること。
 下図は標準的なものであり、既設管の配管状況により適宜対応すること。
 ※既設給水管の止水は可能な限りサドル分水栓で行うこと。

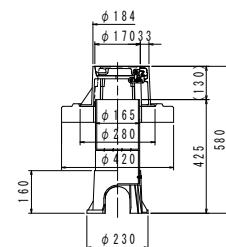


1箇所当り数量
 PEP L=0.50m
 HIVP L=0.50+0.30+0.20=1.00m ②③ ~ ②④ 以外
 HIVP L=1.00+0.30+0.20=1.50m ②③ ~ ②④
 差込式（ワンタッチ式）継手（分・止水栓用ソケット） N=2個
 樹脂製インコア N=2個
 ボール止水栓 N=1個
 ろくろ継手（分・止水栓用） N=1個
 H1-S（ソケット） N=2個
 H1-L（エルボ） N=2個
 TS-C（キャップ） N=1個
 止水栓ボックス（H=600用） N=1個

止水栓ボックス標準図

S=1:10

※蓋、受枠はパイプ上面から130mmを基準に設置すること。

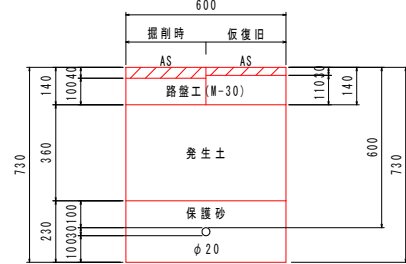


掘削断面図

土工断面A

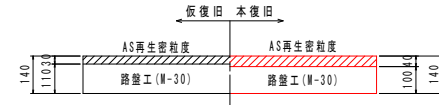
S=1:10

市道 車道 AS舗装（両切）H=0.6 φ20



舗装構成図

S=1:10



四 万 十 市			
工事種別	令和7年度 上水工 第1号 中村地区不壊外1地区配水管布設工事		
図面名称	給水管接合詳細図1	縮尺	図
路線河川名			
工事箇所	高知県 四万十市 不壊外		
設計種別	実施設計図	図面 番号	1
事務所名	四万十市 上下水道課		1
会社名			